

「日本の文化を知り、経験する ～茶道教室に参加して～」

忍野村立認定こども園忍野幼稚園

1. 目的と経緯

地域連携の一環として、地元で茶道を教えている方を講師に招き、年長児の茶道体験(年2回)を始めてから10年以上が経ちます。茶道は、礼儀作法や集中力、心を落ち着けることを体験できる日本の伝統文化です。茶道体験をすることで、礼儀作法の大切さに触れ、相手にお茶を点てる＝相手を思いやるという「おもてなしの心」を学ぶ貴重な機会となっています。また、地域の方とのつながりや文化への理解を深めることも目的としています。



2. 内容

地元の茶道の先生による指導のもと、茶道の基本的な作法(お辞儀の仕方、正座の練習など)を学びます。子どもたちは、実際に茶せんを使ってお茶を点てる体験をし、子ども同士でお茶を出し合います。お茶を受け渡す際の所作や言葉遣いも教えてもらい、掛け軸や生け花を飾る意味も教えていただきます。2回目の体験の時には、参観日として保護者の方にも参加していただき、子どもたちが保護者にお茶を振舞います。



3. 成果と課題

普段の生活では触れることのない茶道体験を通じて、お茶を点てる作法や道具を扱う際に求められる慎重さや集中すること、少しの時間でも静かに取り組むことを経験できます。また、参観日では保護者への感謝の気持ちを、お茶を点てることで伝え、参加した保護者の方も成長している姿を目の当たりにして、喜んでいる様子が毎年伺えます。

課題としましては、年長の子供たちは集中力が続かないこともあるため、先生の話聞きながら意欲的に進められるように、個人差も考慮した言葉かけやサポートが必要なことが挙げられます。年2回という限られた回数ですが、地域の方との交流、その貴重な体験を通して日本文化への理解と興味を育むきっかけ作りとして、これからも続けていきたいと思っています。